

5月26日(土)

白つつじ公園をめぐり 最上川舟運のなごりを感じるまちあるき

- ↓時庭駅出発(9:45)
- ↓最上川フットパス
- ↓小出船着場 **8km**
- ↓菜なポート
- ↓白つつじ公園(昼食)
- ↓やませ蔵美術館
- ↓蔵と庭の、あら町巡り
- ↓鈴木酒造店 長井蔵
- ↓長井駅着(16:10)

参加者16名+スタッフ5名
《市内・山形県内》9名
《東北》2名
《関東》5名



最上川フットパス沿いには菜の花が咲き、遠くに見える新緑の西山を眺めながら楽しんで歩きました。満開の白つつじを眺めた後は、美術館や地酒の試飲などたっぷり長井を楽しんでいただけました。



7月21日(土)

川風そよぐトロッコ道、絶景八ヶ森トレッキング

- ↓今泉駅出発(9:45)
- ↓和久井陶管
- ↓八ヶ森自然公園
- ↓河井地区公民館(昼食)
- ↓トロッコ道ビューポイント
- ↓白川フットパス
- ↓菅原白龍の碑 **9km**
- ↓豊里神社
- ↓時庭駅着(14:30)

参加者22名+スタッフ6名
《市内・山形県内》7名
《東北》7名
《関東》8名



四方八方見渡せる八ヶ森に登りさわやかな汗をかいた後の地元のすいか最高でしたそのあとは最上川フットパスのトロッコ道を通り、川のせせらぎを聞きながら自然のパワーをもらって闊歩。



9月 1日(土)

梅花藻探して究極の裏道を歩こう

- ↓長井駅出発(11:40)
- ↓まちなか水路(フットパス)
- ↓菜なポート
- ↓小出船着場(最上川)
- ↓白つつじ公園(昼食)
- ↓長遠寺
- ↓あら町通り **4km**
- ↓薬師寺
- ↓鈴木酒造店 長井蔵
- ↓まちなか水路
- ↓御殿通り
- ↓長井駅着(16:05)

参加者30名+スタッフ5名
《市内・山形県内》8名
《東北》21名
《関東》1名



きれいな水にしか自生しないという「梅花藻」が市内をはりめぐる水路のあちこちに見られることから人気のコースです。残念ながらこの日は花が散り始めていましたが、可憐な花に身を乗り出して写真を撮る参加者。究極の裏道とありワクワクしながらの一日で、遠方からの参加者も来年は花の満開の時期に来てみたいと言ってくれました。



9月16日(日)

黒獅子のお出ましを 間近で見られる“ででんこコース”

- ↓長井駅出発(11:40)
- ↓工藤家の素堀りの川
- ↓撞木橋 **4km**
- ↓せせらぎ水路(フットパス)
- ↓夢蔵(昼食)
- ↓小桜館・丸大扇屋
- ↓長沼酒造
- ↓遍照寺・大イチョウ
- ↓総宮神社例大祭(黒獅子舞見学)
- ↓あやめ公園高台
- ↓あやめ公園着(16:15)

参加者20名+スタッフ6名
《市内・山形県内》10名
《東北》9名
《関東》1名



長井には水にまつわる伝説から生まれた「黒獅子」が各神社の例大祭で舞います。その黒獅子の迫力あるお出ましを間近でみるコースには、初めて見る参加者がほとんどで、感動したとのことでした。そのあとは、長井を表現した「長井あどり」をみんなで踊って楽しいひと時を過ごしました。何度も参加している方からは、「迎え入れるスタッフの気持ちが良いから、人に会いに来るんだ」とのお褒めの言葉をいただきました!



10月20日(土)

川西と長井を結ぶ赤い橋 実りの秋・伊佐沢里山歩き

- ↓西大塚駅出発(9:40)
- ↓松川橋(最上川)
- ↓河井ぶどう園
- ↓伊佐沢直売所
- ↓玉林寺 **10km**
- ↓獅子宿 燻亭(昼食)
- ↓久保桜
- ↓地藏峠(フットパス)
- ↓さくら大橋(最上川)
- ↓長遠寺
- ↓南長井駅着(14:40)

参加者12名+スタッフ6名
《市内・山形県内》9名
《東北》3名



秋晴れの中、長井の隣の川西町からスタートして、実りの秋伊佐沢へ。途中、まだ木になっている完熟「ぶどう」のつまみ食い。たらひく食べて「餅とそば」の獅子宿へ。そこは獅子彫り工房がありさまざまな獅子頭も拝見。なんといっても帰りの秋の香りの里山をかかさず音を立てながらアルクのは最高でした。今年も毎回晴れのアルクセッションでした。

H24. 3月3日(土)

早春の長井 田舎の味をつまみ食いII

- ↓長井駅出発(11:40)
- ↓木村家(みそもち)
- ↓芳賀醤油蔵見学(外観)
- ↓後藤屋肉店(米沢牛)
- ↓かく長(ひと箸そば)
- ↓大町商店街(ちよびつとサービス)
- ↓十日町公民館(にしんの天ぷら)
- ↓長沼酒造(地酒試飲)
- ↓買上醤油(漬物) **4km**
- ↓総宮神社(玉こんにゃく)
- ↓長井駅着(14:40)

参加者19名+スタッフ8名
《市内・山形県内》11名
《東北》8名



まだ雪が残っている3月始めでも、おしゃべりをしながら歩いて、長井の田舎の味をちょこちょこつまみ食いすれば、寒さなんか吹っ飛ばすコース。もっと食べたいご飯が欲しくなるなど参加者から大好評。商店街の心遣いや、方言での会話が雪国ならではのあもてなし。来年もこのコースからスタートの予定です。どうぞ長井さ きてあごやえ。おしょうな。